



独立行政法人 都市再生機構
理事長 小野 邦久

ごあいさつ 理事長就任にあたって

日頃から「UR press」をご愛読いただき、ありがとうございます。

私たち、独立行政法人都市再生機構（UR都市機構）は、平成16年7月1日に、都市基盤整備公団と地域振興整備公団（地方都市開発整備部門）が統合して発足しました。

私たちは、「人が輝く都市をめざして、美しく安全で快適なまちをプロデュースする」ことを使命とし、これまで半世紀にわたるまちづくりの実績、ノウハウと国民の皆様からいただいている信用をもとに、国家的な重要課題である「都市再生の実現」に向けて積極的に取り組んでいます。

この取組みの中で、都市再生の企画、諸条件の整備等のコーディネートや、パートナーとしての事業参画など、民間事業者の方々に新たなビジネスチャンスをご提供いたします。

また、都市基盤整備公団から承継した約77万戸のUR賃貸住宅については、お住まいになる皆様の居住の安定に配慮しつつ、引き続き適切な管理・有効活用を進めてまいります。

私たちは、「都市再生」を担う公的機関として、また「実績、成果」を重視する経営体として、CS（お客様満足）第一の立場に立ち、時代の要請を着実に実行することで、皆様の期待に応えてまいります。

今後とも、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、本誌が読者の皆様のご高覧にあずかり、本年7月以降、3年目に入るUR都市機構の事業を理解していただく一助となりますよう、今後とも誌面の充実を図ってまいります。



2006 冬 vol.6

c o n t e n t s

- 2 ごあいさつ
理事長就任にあたって
小野 邦久 独立行政法人都市再生機構 理事長

- 3 特集鼎談
日本の都市再生 - いかにすすめていくか -
伊藤 滋 早稲田大学特命教授 内閣官房 都市再生戦略チーム座長
青山 佳世 フリーアナウンサー 総理主催 観光立国懇談会委員
小川 忠男 独立行政法人都市再生機構 副理事長

- 9 都市再生プロジェクト
連鎖型都市再生による 生まれかわる大手町
国際ビジネス拠点の再構築 大阪都心に残る最後の一等地
梅田北ヤード 大阪駅北プロジェクト

- 11 都市の情景
運河の蘇生 都市の再生
小樽運河……昔の佇まいを残す北運河

- 13 連載 “いま光る” 都市を訪ねる 第1回
都市が映える風景とは - 近江八幡と水郷
西村 幸夫 東京大学大学院 都市工学専攻教授

- 15 住まいとまちづくり50年の歩み

- 21 UR TOPICS / 編集後記